



医療連携ニュース



2022年12月号

発行 東海大学医学部附属八王子病院 患者支援センター 医療連携室 TEL:042(639)1114 FAX:042(639)1115

寒気の候、貴施設におかれましては益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当院の運営にご理解とご助力を賜り、また、多数の患者様をご紹介いただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、東海大学医学部附属八王子病院医療連携ニュース2022年12月号を発行いたしました。

先生方が、ますます当院との医療連携を深めていただき、一助となれば幸いです。

患者支援センター長 小田 真理、医療連携室長 角田 隆俊

胆膵領域治療に対する当院の取り組み



東海大学医学部附属八王子病院
消化器内科医長 講師 伊藤 裕幸 医師

【専門分野】

胆膵の良性疾患・悪性疾患の内視鏡治療、薬物療法

【専門医・認定医】

日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本肝臓学会専門医・暫定指導医、
日本消化管学会認定医・指導医、日本胆道学会指導医、日本膵臓学会指導医

当科では11名のスタッフが3つのチームに分かれ診療を行っており、消化管・肝臓・胆膵領域のそれぞれ高度な専門性を有したスタッフが診療にあたっています。私自身は胆膵領域を専門としており、地域の先生から胆膵の良性から悪性疾患まで数多くの症例をご紹介頂き、安全かつ高度な医療の提供に努めております。おかげ様で胆膵の内視鏡検査件数も地域有数の件数となっており、特にERCP検査は毎日複数件を行い、年間で500件以上の症例を検査しています。

胆膵領域の悪性疾患に対する正確な診断・高度治療もさることながら、当科では膵がんの早期発見にも力を入れており、特に膵がんの高リスクとなる膵嚢胞を有する患者の適切な外来フォロー体制の構築を目指しています。既に膵嚢胞の地域連携システムは尾道方式として広く周知されており、他地域でも同様の取り組みが新たに試みられつつあります。多摩地区においても、地域の医師会の先生方と連携して膵がんの高リスクとなる膵嚢胞患者の拾い上げを行い、適切な検査フォローで膵がんの早期発見に繋がるようなスキームの構築を目指しております。

なお、当科では各曜日3名の医師が外来を担当しており、うち1名が曜日毎に専門外来を設けております。胆膵疾患外来は水曜日となりますが、その他の曜日でも対応可能ですので随時ご紹介を頂ければと存じます。急患に関しましても随時対応可能ですが、午後は処置が多く入りますので、少しでも早めの時間でのご相談を頂けると幸いです。



超音波内視鏡検査

当院における「地域感染症対策」の取り組みについて



東海大学医学部付属八王子病院
看護部(感染制御部門) 呉 禮媛 看護師

【専門分野及び専門資格】
感染症看護専門看護師 / 感染管理認定看護師

感染症を引き起こす病原体は、人や施設、地域を選びません。一施設の感染症クラスターは、周囲施設での感染拡大に影響し、地域全体の感染リスクであることが国内外の疫学調査で判っています。新型コロナウイルス感染症とその対策は、今、4年目を迎えようとしていますが、地域の様々な施設のクラスター発生は続いており、本来あるべき医療等の体制が制限されている状況です。

そのため当院では、新興感染症等の感染拡大にかかわらず、地域の医療・介護・福祉のシームレスな機能が維持できるよう、地域感染症対策を支援しています。主に、感染症対策専門家が不在の中小病院、介護、福祉施設を対象に、感染症対策に関する情報提供サイトを開設し相談を受けたり、情報交換会を含むセミナーを開催し最新情報を提供・共有したり、行政や医師会と連携し専門家を地域施設へ派遣したりしています(表1)。

表1. 当院の「地域感染症対策」の取り組み (2022年1月～11月)

主な取り組み内容	開催頻度(手段)	詳細
感染症対策相談	随時(メール、チャット、電話、Web会議)	・当院メーリングリスト登録 :124人(93施設*1)
TOKAI地域感染症対策 情報交換会及びWebセミナー	5回(Webセミナーツール)	・参加人数/回 :37～76名(平均54名)
感染症対策専門家の地域派遣	中小病院、介護・福祉施設 22施設(実地訪問)	・平常時の施設ラウンド*2 ・地域感染拡大時の施設訪問(クラスター対応)*3

*1. 参加施設所在地:八王子市、清瀬市、立川市、昭島市、日の出町、瑞穂町、あきる野市、青梅市、羽村市、福生市、日野市、多摩市

*2. 実地ラウンド及び指導/対策提案、マニュアル及びBCP点検、研修開催、感染症危機管理(実態調査・分析・評価)等

*3. クラスター発生時介入(組織内リスクコミュニケーション調整、感染対策備品・職員体制調整、検査支援、疫学調査、ゾーニング対策、健康観察指導、感染症患者アセスメントとケア方法教育、施設内外の倫理調整)、受診/療養調整等

厚生労働省は、新型コロナウイルスに対し、季節性インフルエンザと同様の「5類」感染症の議論を始めています。一方、医療機関や介護、福祉施設のようにハイリスク施設での集団感染予防のための感染症対策は、大きく変わりません。ここで、当院が目指す「地域感染症対策」は、平時から実践できる基本的な感染対策を、様々な施設の担当者を中心に、地域で標準化することです。当院では、2023年度に、「感染管理担当者育成コース」を計画しています。是非、今後も地域感染症対策に皆様のお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

当院の地域感染症対策に関するメーリングリストの登録、及び、専門家派遣依頼は、「ホームページ」⇒「医療機関の方」⇒「地域感染症対策」をご確認ください。



手指衛生と個人防護具脱着訓練の支援

医療連携室からのお知らせ

当院では、午前8時から11時までに来院された初診患者様は、予約の有無にかかわらず診療いたします。(一部の診療科を除く)

ご紹介におかれましては、紹介状を作成いただき、当日に持参いただければ幸いです。なお、従来の事前予約による診療も行っております。

診療受付時間:月曜日～金曜日、第2・4・5土曜日 8:00～11:00

休診日:日曜日・祝日、第1・3土曜日、11月1日(建学記念日)、12月29日～1月3日

医療機関専用ダイヤル 042-639-1114

平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30

医療機関専用ファックス 042-639-1115

24時間対応 * 受付時間以降の受信は、翌日対応となります。

一般ダイヤル 042-639-1111(代表)

平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30